

PRESS RELEASE

2009年1月20日

ゴールドラッシュと共に歩んだ、コロラド開拓の歴史を伝える屋外展示博物館

コロラド鉄道博物館 50周年記念行事を7月に開催

今年50周年を迎えるコロラド鉄道博物館は、州都デンバーの西約20キロの町ゴールデンにあるアメリカ有数の屋外私設博物館で、今年は通常の行事に加えて7月11、12日に50周年記念の盛大なイベントの開催を予定しています。

コロラド州では、1850年代に同州を席卷したゴールドラッシュにより、州内各地の鉱山と町を結ぶ数々の山岳鉄道が敷かれました。財力のあるパトロンが、点在する鉱山開発を続けながら、鉄道を敷設していたため、鉱山の寿命と同時に忘れ去られ、またモータリゼーションの発達によって多く鉄道路線が合併、廃線となり、使用していた列車や客車は国外に売却されていきました。コロラドで敷設された鉄道の多くは米国では珍しい山岳地域を走る「狭軌鉄道（きょうきてつどう）」で、険しい山を縫って進むため、景勝地も多く、米国鉄道史の中でも殊に華やかな時代として西部劇などの映画の中で取り上げられ、人々の記憶に残っています。

1959年に開設されたコロラド鉄道博物館は、コロラド開拓の歴史の上で重要な部分を占める山岳狭軌鉄道の歴史を保存し、後世に伝えていく使命をもって運営されています。施設内にあるNゲージ及び0ゲージモデルと共に同館が所蔵する100以上の車両や数々の鉄道時刻表や文書などの貴重な史料を保管、展示し、鉄道ファンにとどまらず世界中の老若男女の人気を集めています。

コロラド鉄道博物館ウェブサイト：http://www.crrm.org/train_museum.htm（英語のみ）

交通 デンバーから1時間 開館時間 9:00-17:00 祝祭日を除き年中無休

入場料 子供料金(16歳まで)5ドル、*2歳以下無料/大人料金 8ドル(12ドル)/シニア料金(60歳以上) 7ドル(10ドル)

(カッコ内はイベント開催時、機関車の運行がある場合の入場料です。)

☞ **コロラド州について**

コロラド州は米国の中でもアメリカ開拓の歴史を色濃く残す州です。年間晴天率300日を誇り、3千メートル級の山々が連なるロッキー山脈国立公園をはじめとする4つの国立公園を擁しており、恵まれた自然の中、冬はスキー、夏はリゾートと米国内外から観光客で賑わっています。又コロラドはトレッキングやハイキングなどアウトドアやスポーツ愛好家にファンが多く、人と自然の距離を縮める、不思議な力のあるデスティネーションです。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

コロラド州観光局 日本事務所（アビアレップス・マーケティング・ガーデン株式会社内）

担当: 米田、古山 TEL: 03-3225-0008 / FAX: 03-5363-1118

参考イメージ

コロラド鉄道博物館 ロゴマーク



屋外展示イメージ

リオ・グランデ鉄道



リオ・グランデ鉄道



自動車を改造したギャロッピング・グース



カブース(車掌車)

